

愛知県議会議員 わたらい克明の

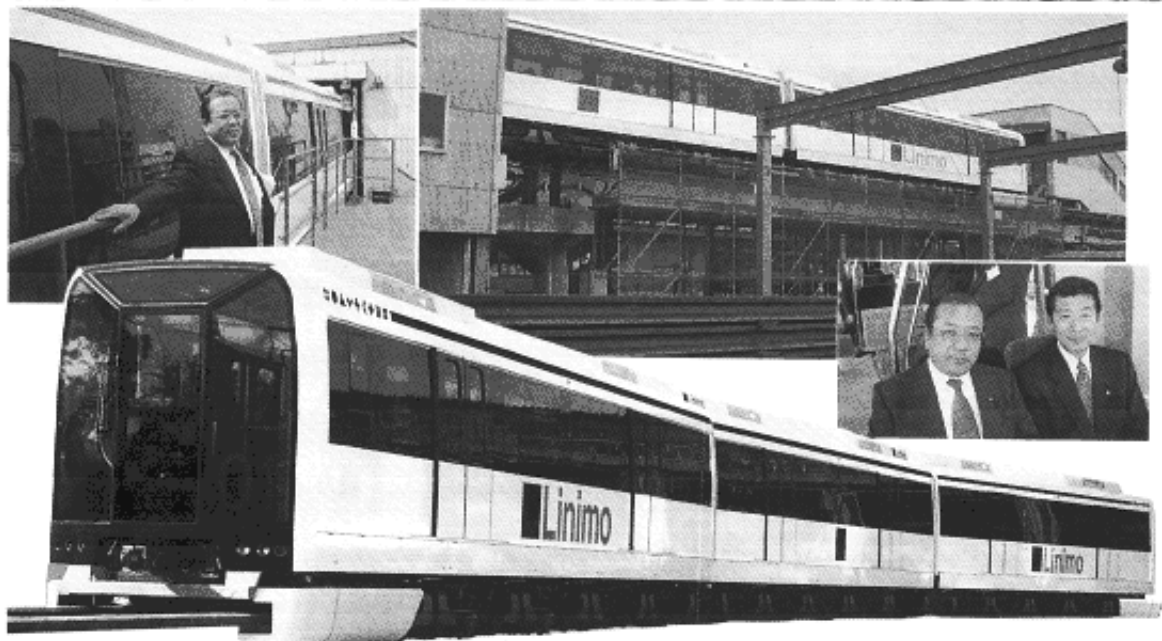
県政ジャーナル



2003年 初夏号 (第16号)

発行人 わたらい克明事務所
豊橋市多米東町二丁目20番地の12

感謝を決意に変えて 勇躍前進!



磁気浮上式リニアモーターカー、Linimo (リニモ) 1号車両の完成試乗 (名古屋市南区・大江実験線にて)
愛・地球博 (愛知万博) への主要アクセス東部丘陵線として2005年開業予定

ありがとう

愛知県議会議員

渡会 克明

初夏の候、皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

このたび、皆様方の真心のご支援を賜り、県議会二期目の仕事をさせていただくことになりました。その熱いご期待をわが使命と責任に変え、全力で働いてまいります。

皆様方のご意見、ご要望を県政に反映させ、具体的な政策実現を目指したいと思います。「いつも全力! 庶民派わたらい」を合言葉に、「有言実行」を忘れずに、「誠心誠意」で一つひとつ実績を積み上げてまいります。

さて、数々の試練を乗り越え、わが国経済の発展を支えてきた中小企業こそが経済再生の先導役であり、ここ愛知においても、常に経済発展の原動力であり、牽引力となってきました。私は、この中小企業の活性化に全力を尽くしたいと思います。チャレンジ精神あふれる中小企業の力を引き出せる社会の仕組みを構築していくことが必要であると思っております。今後ともどうか皆様方の一層のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成十五年五月



県議会報告



2月定例県議会における

私の質問と答弁の一部抜粋

2月定例議会一般質問より

3月7日、県議会の一般質問で、以下の4点について質問をいたしました。

1 雇用対策について

(1) ワークシェアリングの推進について

中高年齢者の雇用対策にも寄与するワークシェアリングの幅広い推進について、県としてどのように考え、今後、どのように取り組んでいくのかお伺いします。

(産業労働部理事答弁要旨)

ワークシェアリングにつきましては、昨今の厳しい経済雇用情勢下における雇用対策の一方策として有効な手段であり、その促進を図ることが重要であると考えます。

本県といたしましても、昨

ような取り組みをしているのか伺います。

(産業労働部理事答弁要旨)

次に、中高年齢者の再就職促進についてであります。中高年齢離職者については、高等技術専門学校での教育コースを拡大するとともに、就職面接会を行っておりますが、なかなか結果に結びつかないのが実情でございます。そこで、本年度は、就職の可能性が高い病院調理などの職種の業界団体と連携し、職業講習を組み合わせた事業を実施いたしました。これが一定の成果をあげましたので、新年度はコースを増設して、その充実に努めてまいります。

次に、定年退職後の雇用就業についてであります。

健康で意欲のある方々には、定年後もその能力を活かして元気に働き続けていただくことが、少子高齢化が進む中で、企業の力を強め、ひいては地域社会の活力を維持するためにも重要なこととあります。

このため、「65歳現役社会を考えるシンポジウム」を開催し、事業主等に対し、高齢者を活用している先進企業の事例を紹介したり、国の助成制度を周知することにより、

高齢者の雇用に積極的な企業の増加に努めているところであります。

また、生きがいや社会参加といった意味からも、多様な就業機会を高める高齢者に対しては、希望に応じて仕事や働き方を選ぶことができ、選択肢を増やしていくことが重要であります。

そのため、県としては、家事や子育て支援、環境美化、公共施設の管理など、地域に密着した、幅広い仕事を提供するシルバークンセンタース事業の支援等を通じまして、高齢者の就業機会の拡大と多様化に努めてまいりたいと考えております。

(知事答弁要旨)

雇用問題は、厳しい経済情勢の中で、県民の皆様にとって最も切実な問題となっております。

このため、15年度は、公的部門で臨時的な雇用機会を創出することが目的の「緊急地域雇用創出特別基金事業」を大幅に前倒しすることといたしました。基金の半分に当たる69億円分を実施することとしたところであります。

再就職の難しい中高年齢の方々のために、企業を個別に訪問して求人を探り起こす「求人開拓事業」を計画しております。延べ、2,500社を訪問することとしております。

県としても、引き続き、中高年齢者、若年者、障害者などの就職の困難な方に重点を置いて、再就職支援に努めてまいります。

2 少子化対策について

(1) 地域子育てセンターの整備状況はどのようになっているのか、また、今後の整備計画はどのようになっているのか、お伺いいたします。

(健康福祉部長答弁要旨)

少子化対策についてのうち、地域子育て支援センターの整備状況についてであります。平成15年3月1日現在、県所管分で、41市町村に48か所が設置されております。

今後の整備計画については、現在、「21世紀あいち福祉ビジョン」の実施計画の見直しを行っているところであり、目標年次の平成19年度には、ほとんどの市町村での設置を目指してまいります。

(2) 子育てを支援するネットワークの形成について

家庭教育を一層充実させる

ため、地域の子育て支援ネットワークの形成について、今後どのように進めていこうとされているのか、教育長にお伺いします。

(教育長答弁要旨)

地域の子育て支援ネットワークの形成についてですが、教育委員会といたしましては、地域におけるネットワーク形成の中核となる人材として、親の相談に応じたり、子育てグループづくりを先導する役割を担う「子育てネットワーカー」を、本年度までに約1,000人養成してまいりました。

また、この子育てネットワークワーカーを中心とした、地域におけるネットワーク形成を推進するため、子育てネットワークを設置し、幼児教室や親子ふれあい広場の開催など、子育てグループを支援する事業を、本年度75市町村に委託してきたところであります。今後はこうした事業を一層充実・発展させ、地域社会全体で子育てを支援する「子育て安心社会づくり」を目指してまいります。

3 女性専門外来について

県立病院に、県民ニーズに対応する効果的な女性専門外

来を設けてはどうか。

(健康福祉部理事答弁要旨)

女性専門の外来診療は、女性患者にとりまして医師が同性という事で気楽に安心して診察が受けられること、女性特有の疾患に十分対応してもらえるなど、性差に配慮した医療として、意義深いものと認識しております。

県立病院での女性専門外来設置につきましては、現状では、女性医師の確保が十分でないこと、県立病院は、がん循環器などの専門的医療が中心で総合的な医療を行っていないこと等の課題があり、なかなか難しい状況でございます。しかしながら、女性専門外来の必要性は理解しておりますので、専門性の高い県立病院として、どの範囲で可能か、今後検討を進めてまいりたいと存じます。

4 治安対策の推進について

(1) 最近のATMを襲った犯罪を始め、来日不良外国人によると思われる「破壊窃盗」に対して、県警として、どのような対策を採られているのか伺います。

(警察本部長答弁要旨)

県内におきましては、建設重機を使用してATMを破壊

する窃盗未遂事件が本年2月に初めて発生いたしました。このため、本年2月12日、建設重機を取り扱う建設業協会などの関係団体を交えて、「建設機械の盗難防止対策会議」を開催し、建設重機の保管場所に対する見回りの実施や建設重機に係るエンジンキーの確実な保管、搬送車両の鍵の保管、チェーン等で本体を固定するなど働きかけたところでございます。

また、金融機関などに対しましては、ATMなどは建設重機が近づけない場所に設置することやATMの構造を強化すること、付近住民への協力依頼をすることなどについて、お願いをしております。

(2) どのように犯罪の低年齢化抑止対策を推進していくのかを伺います。

(警察本部長答弁要旨)

県民1万人を対象に実施しましたアンケート調査では、非行少年群の中学生の約30%が、一般の中学生では約15%が、友達に誘われたら万引きを一緒にやってしまうかもしれない、という回答をしております。また、少年の非行防止について警察に望むこととして、厳しい検挙・補導、相談活動の充実、非行防止教室

等の情報発信といった項目が寄せられております。

私どももいたしましたし、こうした調査結果と県民の方々からの様々なご意見を踏まえ、街頭補導活動の強化、万引き事案の厳正な検挙・補導を実施するとともに、少年相談の充実、商店・スーパーへの適切な通報、小中学校との非行防止に関する情報交換、先生や父兄との合同補導等により、非行の低年齢化抑止対策を図ってまいります。

2月定例議会議案質疑より

3月10日、県議会の議案質疑で、以下の点について質問をいたしました。

木造住宅の耐震化について

(1) 耐震改修にかかる費用の低減化の観点からも効率的な工事の普及について、どのように進めるのか。

(2) 耐震性を高めるために建て替えをしようとする方には、どのような支援をされるのか。

(建設部理事答弁要旨)

民間木造住宅の耐震化についてであります。効率的な改修方法の普及は大変重要であると考えており、このため工務店等の専門家向けの技術マニュアルを作成するとともに、

に、一般県民の方々に対しても、通常のリフォームと併せて耐震改修工事を行うための経済的な改修方法を案内するガイドブックを作成し、啓発に努めてまいります。

さらに、建築関連業界の協力の下に、改修方法についての講習会の開催を進めてまいります。

また、建て替えは、耐震化のためばかりではなく、利便性の向上等の居住者それぞれの事情も関係してくる場合が多いと考えられ、このたびの補助制度の対象とはしておりませんが、一定の耐震性能を満たす住宅につきましては、現行の「安全で快適な家づくり利子補給制度」を活用して支援してまいりたいと考えております。

坂口力厚生労働大臣を迎え街頭演説(豊橋駅前にて)



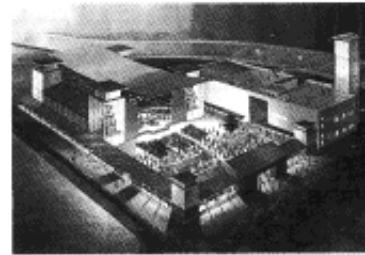
(2003年3月15日)

開催期間：2005年3月25日～9月25日

愛知万博だより

海上地区

愛知県パビリオン 青少年公園地区



「森の鼓動と呼吸」～かつてない自然発見の場～

知識としての森を知るのではなく、小さな森すらも秘める生命の連鎖の不思議な力や人の生命が森の生命と連携していることを感動をもって知る場とします。

「産業革命への力」～環境問題解決への新産業設計図～

愛知のモノづくり人たちの英知や情熱が、産業革命への起動力であることを知らせ、望ましい環境時代へ向けて、いかなるモノづくり産業を興すべきか問いかけます。

入場料金について ☆今年9月25日に前売入場券の販売を開始☆

	大人 (18～64歳)	中人 (12～17歳)	小人 (4～11歳)	シニア (65歳～)
当日券	4600円	2500円	1500円	3700円
1年半前券	3700円	2000円	1200円	3000円

この他にも、夜間、平日、障害者、団体などさまざまな割引料金制度があります。20%割引になる1年半前券(平成16年3月31日まで)は大変お得です!

○ 愛知県国際博推進局
<http://www.prof.aichi.jp/expo/>

○ (財)2005年日本国際博覧会協会
<http://www.expo2005.or.jp>

診療科目

- 小児科
 - 形成外科
 - リハビリテーション科
 - 心療内科
 - 心血管外科
 - 放射線科
 - 精神科
 - 小児外科
 - 麻酔科
 - 神経科
 - 皮膚科
 - 矯正歯科
 - 呼吸器科
 - 泌尿器科
 - 小児歯科
 - 循環器科
 - 婦人科
 - 歯科口腔外科
 - アレルギー科
 - 眼科
 - 整形外科
 - 耳鼻いんこう科
- 22科目

「あいち小児保健医療総合センター」が平成15年5月1日に左記の診療科目を整え、県内唯一の小児医療専門病院として全面オープンしました。

知っていますか?

外来診療のご案内

当センターの受診は、紹介予約制です。お電話にてご予約ください。

予約電話番号 0562-43-0509 (午前9時～午後5時)
ファクシミリ 0562-43-0510

耳鼻いんこう科ファクシミリ 0562-43-0515

●診療時間 午前8時～午前12時、午後1時～午後6時

●休診日 日曜日・月曜日(祝日、年末年始を含む)

●土曜日は祝日でも診療します。

※ただし、月曜日が祝日の場合は、火曜日は休診していただきます。

時間外電話相談

保健センターや各部署が休まった後、

専門相談員が相談に応じます。

専用電話 0562-43-0555

●午後5時～午後1時、

火曜日～土曜日

(祝日、年末年始を除く)



あいち小児保健医療総合センター
〒474-0031 愛知県大府市森岡町尾坂田1番2号
TEL0562-43-0500(代表) FAX0562-43-0513
URL <http://www.achmc.pref.aichi.jp/>

暮らしの相談110番

自宅 〒440-0028
豊橋市多米東町二丁目20番地の12
電話 (0532) 62-9633
FAX (0532) 64-4368
E-mail katsuaki@watarai.org
URL <http://www.watarai.org/>

県庁 〒460-0001
名古屋市中区三の丸3丁目1番2号
電話 (052) 961-2111
FAX (052) 961-2013

◆県政へのご要望、ご意見など何でもご相談ください。また、法律・税務相談等もお気軽に◆

※この県政ジャーナルは、わたらい克明の手作り新聞です。(再生紙を使用しています)